ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般県道　川尻安浦線　交通安全第1種事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	5	3	9	0	0	3

シートNo.　3

ボーリング名	No.3	調査位置	呉市安浦町中央四丁目		北　緯	34° 16’ 47.4635”
発 注 機 関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成29年 3月 1日～平成29年 3月 2日		東　経	132° 44’ 38.8812”
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	DL 3.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 0° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	9.00m	使用機種	試錐機	東邦D1B-58	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーTF120V-E	ポンプ	東邦BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1									GL-0.10m迄、アスファルト。		
2					混り礫じり粘じり混砂	暗褐	非常に緩い		埋土。不均質。 中～粗砂を主体とする。 径5cm以下の礫を20～30%混入。 細粒土分を10～20%含有する。		
3	0.90	3.00	3.00								3/2 3.00▽
4	-0.20	1.10	4.10		礫混じり砂	褐灰	非常に緩い		中～粗砂を主体とする。 径3cm以下の礫を20～30%混入。 GL-2.80m付近、礫を多く混入。		
5	-1.10	0.90	5.00		花崗岩	淡褐			DH級岩盤。 風化が進行し撹乱すると土砂化～礫状コアとなる。		
6					花崗岩	淡青灰			CL級岩盤。 柱状コアで採取するがコア肌は非常に粗く、亀裂面に沿って土砂化～細礫化が著しい。 ハンマー軽打で割れる。 部分的に硬質部が残存する。		
7						淡褐					
8	-3.90	2.80	7.80		花崗岩	淡褐			CM級岩盤。 L=10～20cmの柱状コアで採取するがコア肌は比較的に粗くハンマー打撃で濁音を発す。		
9	-5.10	1.20	9.00								
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1	1	1	3	3
	15	7	15	37	
1.52					
2.15	1	1	1	3	3
	12	14		36	
2.51					
3.15	1	1	1	3	3
		12	8	30	
3.45					
4.15	43	7		50	50以上
		1		11	
4.26					
5.00	50			50	50以上
	3			3	
5.03					
6.00	貫入不能			50	50以上
				0	
7.00	貫入不能			50	50以上
				0	
8.00	貫入不能			50	50以上
				0	
9.00	貫入不能			50	50以上
				0	

原位置試験 深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
2.15	3-1	㊀	土粒水含粒度	3/1
2.51				
3.15	3-2	㊀	土粒水含粒度	
3.45				
				3/2